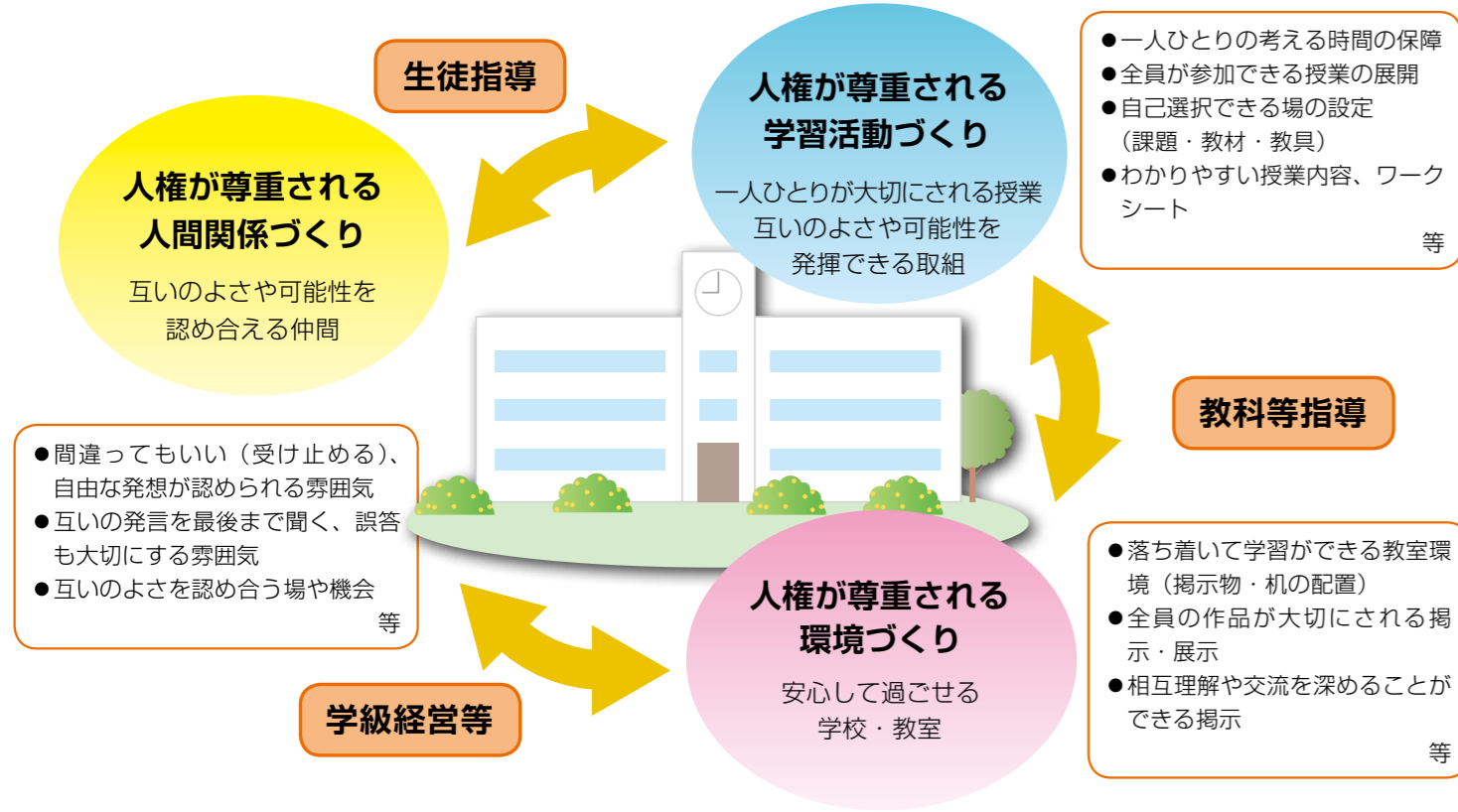


人権尊重の視点に立った学校づくり



大切な「隠れたカリキュラム」

「隠れたカリキュラム」とは、教育する側が意図する、しないにかかわらず、学校生活を営む上で、児童・生徒自らが学びとっていく全ての事柄を指すものです。学校・学級の「隠れたカリキュラム」を構成するのは、それらの場の在り方であり、雰囲気といったものです。人権感覚の育成には、体系的に整備された教育課程とともにこの「隠れたカリキュラム」

という視点はとても重要です。「いじめ」を例にとると、「いじめはいけない」という知的理解だけでなく、実際に「いじめ」を許さない雰囲気が浸透している学校・学級で生活することを通じて、児童・生徒はじめて「いじめ」を許さない人権感覚を身につけることができます。

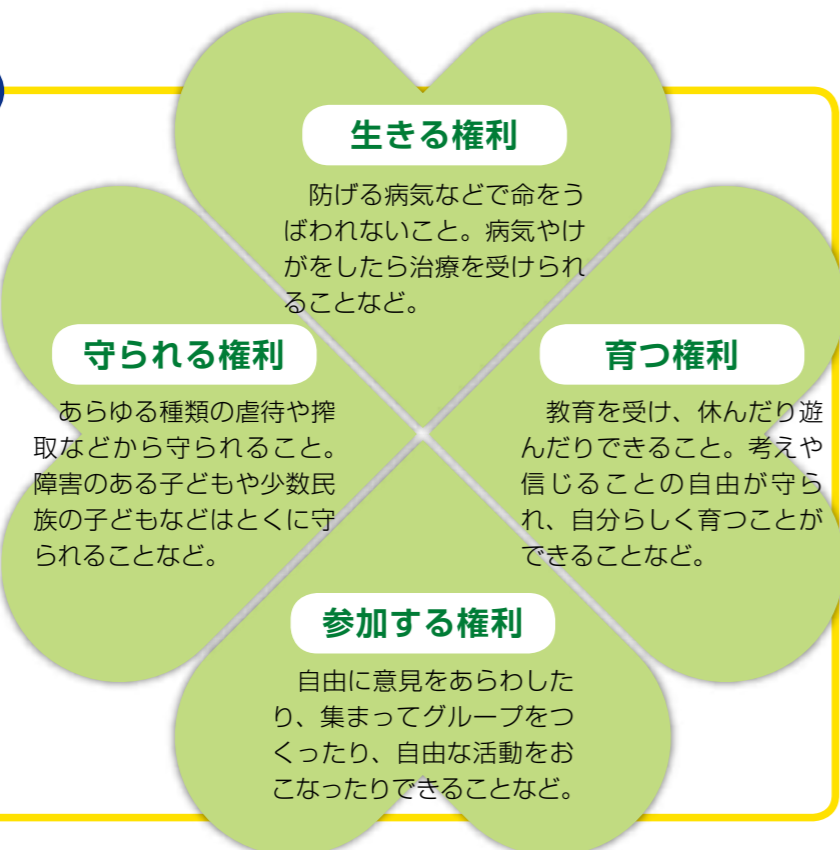
子どもの権利条約

「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」は1989年に国際連合総会で採択された、子どもの人権に関する世界で最初の国際的な条約です。日本は1994年に批准しました。子どもの人権の尊重を保障することを目的とし、全54条で構成されています。この条約では、18歳未満のすべての人を子どもと定義し、次の4つの権利を柱としています。

子どもの幸せのために

第3条「子どもにもっともよいことを」
子どもに関係のあることを行うときは、子どもにもっともよいことを第一に考えなければなりません。

【参考】公益財団法人 日本ユニセフ協会ホームページ



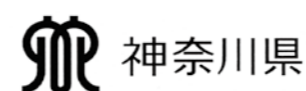
児童・生徒一人ひとりかけがえのない存在として接していますか。

児童・生徒への対応について
自分自身を振り返ってみましょう。



- 一人ひとりの声をきちんと受け止めて聴いている。
- 明るく丁寧な言葉がけをしている。
- 教育的ニーズを把握し、きめ細かな対応をしている。
- よさを認め、励ましている。
- 結果にとらわれることなく、取り組む姿勢や過程を認め、ほめている。
- 一人ひとりに対して分け隔てなく接している。
- 先入観や偏見を持たないようにしている。
- 小さな変化に気づき、迅速に対応している。
- 「同じ目の高さ立つ」など、共感的に理解するよう心掛けている。
- 文書の表現や言葉遣いに、十分な気遣いと配慮をしている。

【参考】「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」平成20年3月 人権教育の指導方法等に関する調査研究会議

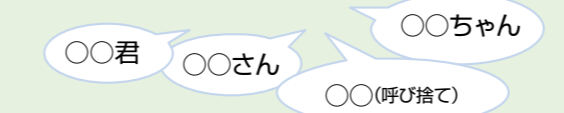


神奈川県 教育委員会教育局行政部行政課 人権教育グループ
横浜市中区日本大通33 〒231-8509 電話(045)210-1111(代表)

発行 平成27年12月

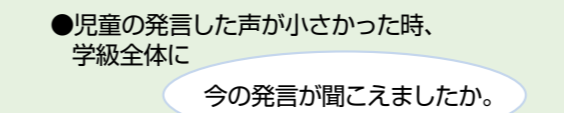
人権的配慮って？

例1
児童・生徒に対するイメージや捉え方が呼名の違いにあらわれていませんか。



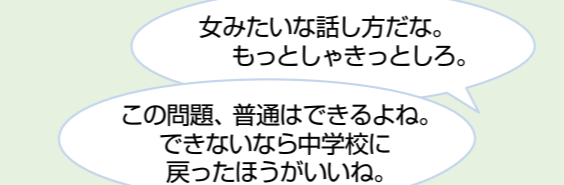
不公平と感じさせない配慮が必要です。

例2
児童・生徒の言動等への否定的な評価に基づく改善点の指摘を他の子どもに求めていますか。



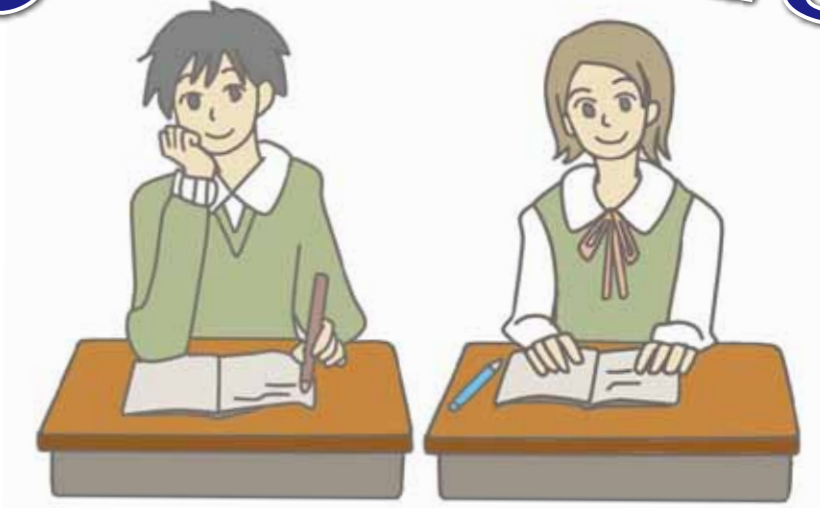
このような指摘は当該児童・生徒に対する負の評価を学級内で固定化してしまうことにつながります。

例3
自分の中の偏見や思い込みに気づいていますか。



「差別意識を助長する表現」「いやみな表現」「身体的特徴に触れる表現」等は児童・生徒の心を傷つけます。

わたしも大切 あなたも大切



Q 「人権」とは、何ですか。

A 「人権」とは、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」です。「生きていたい」「自由でいたい」「幸福でいたい」という、全ての人に共通する三つの願いを支えるものです。

Q 人権教育の目標は、何ですか。

A 人権教育の目標は、一人ひとりが発達の段階に応じて、人権の意義・内容や重要性について理解し、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができるようになることです。そして、それが様々な場面や状況で具体的な態度に現れることによって、人権が尊重される社会づくりに向けた行動につながるようにすることです。

Q 「人権を尊重する」とは、どういうことですか。

A 「人権を尊重する」とは自他の人権を正しく理解し、相互に尊重しあうこと。つまり、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」です。

Q 人権教育は、いつ、どこで、誰が進めていきますか。

A 人権教育は教育活動の基本です。子どもが登校してから、下校するまでの教育活動を通して、あらゆる場面で、全ての教職員によって進めることが大切です。

Q 「人権教育」とは、何ですか。

A 「人権教育」とは、「人権尊重の精神の涵養を目的とする教育活動」をいいます。ポイントは、「涵養」という言葉。涵養とは、自然に水がしみこむように、ゆっくりと養い育てることで、す。

Q 人権教育を進める上で、大切なことは何ですか。

A 人権教育は「自己肯定感の育成」を基盤に据えて、各教科や特別活動等を通して、人権に対する正しい「知識」を身につけることが大切です。また、「知識」とともに全ての教育活動を通して「人権感覚」を高めることが重要です。